



turnover

ADULT  
R18  
ONLY

18歳未満の  
購入・閲覧禁止





いいえ

お

兄ちゃんあつ

あーっ

すっ  
ちゅ

すっ  
ちゅ

あ

あ  
深い

あ  
あ

あ

お……兄ちゃん  
お兄ちゃん  
お兄ちゃんっ

好きっ!!



キ……リトく……

あ  
あ

いいえ違う  
これが  
キリト君と  
直葉ちゃん  
であるはずがない



あ……悪趣味だし  
悪質だわ!

これもあなたと同じ  
ニセモノなんでしょうけど  
それでもこんな事

そうよ  
だってここは  
ALOなのよ  
直葉ちゃんは存在しない

残念ながら  
直葉は本物だよ



直葉のお相手は  
確かにキリトではない

システムの一部であり  
俺の一部でもある  
プログラムさ

でも彼女は  
本物の直葉だよ

直葉が  
「リーファ」ではなく  
「直葉」のアバターを  
まとっている

もちろん彼女が  
そう望んでね



やめさせて  
今すぐに

それは  
できない相談だ  
どうして!?

これは  
彼女が自分で  
望んだこと  
だからだ



俺は強制していない  
彼女は自分が何をしているのか  
理解した上で受容している

俺は必要とされ  
存在している  
君に止める権利はない

なんなら一度  
本人に確かめて  
くればいい

君の言う  
現実で

メーカーに訴えて  
調べてもらう？

ううん

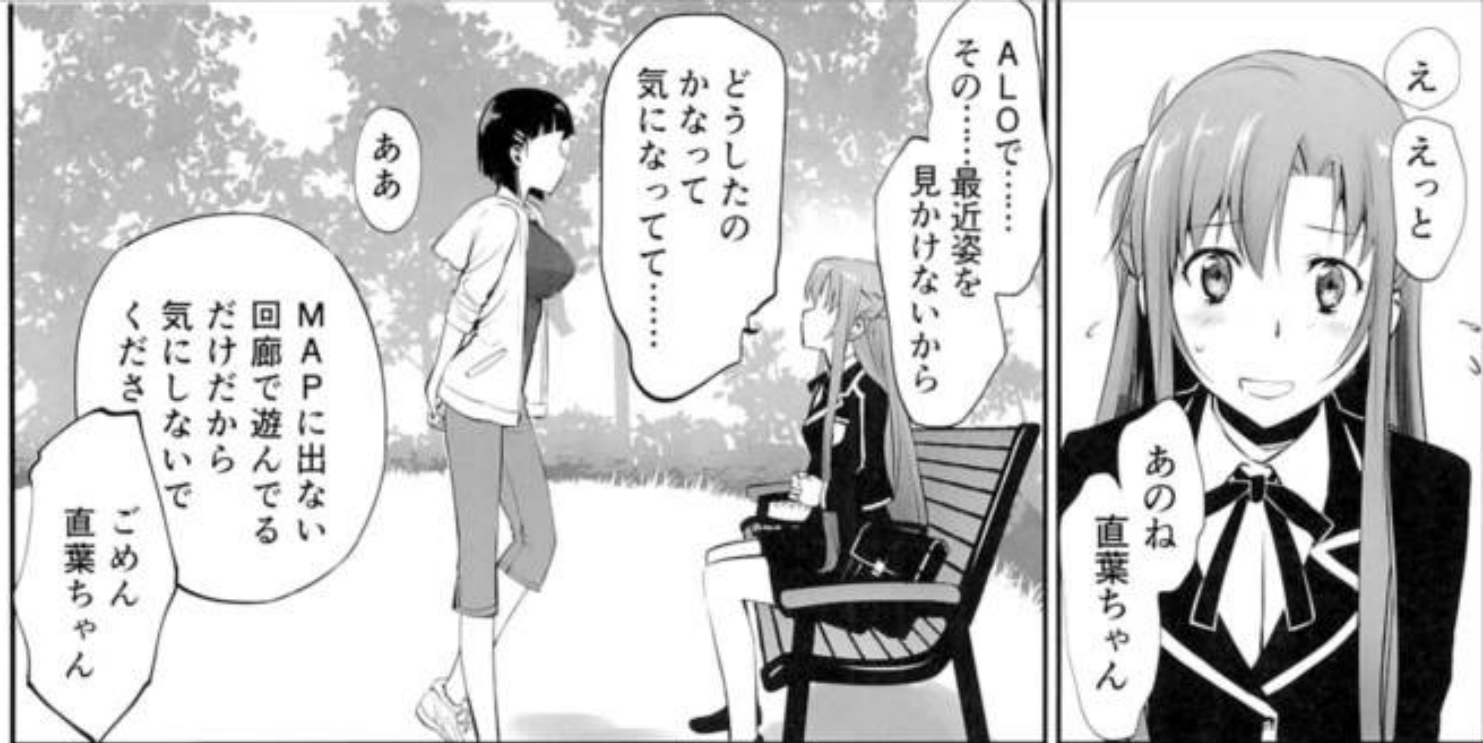
だめ

まして  
キリト君には  
絶対話せない

お待たせしました  
アスナさん

お話って  
なんですか？





私の希望を  
叶える条件です



全部知ってますよ  
あれがAIだってことも

アスナさんと  
交渉材料のために  
私に話を持ちかけて  
きたことも  
全部さちんと  
話してくれましたから

その上で  
同意をタップ  
したんです



ど  
どうして!?

こんなの  
間違ってる  
でしょう!?

なにがですか?



なのにどうして  
文句を言われなくっちゃ  
ならないんですか?

なにが  
って

あれはキリトくんじゃ  
ないのよ!?

アスナさんには  
お兄ちゃんがいるじゃ  
ないですか

本物の  
お兄ちゃんが



あのね  
直葉ちゃん





やあアスナ  
また会えたね



人の物まで  
取らないで!!



お兄ちゃん  
好きい

しらじらしい  
ログインしたら  
この回廊に  
直結するように  
仕組んでるくせに

君には  
ログインせずに  
メーカーに連絡  
するとう  
選択肢もあった

!!

でも君は  
ここに来た

俺もスグが  
好きだ  
愛してる

わたしが一番?

ああ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ







君は——最初にシステムを  
超えた人間だ

キリトよりも先に

ヒースクリフ  
——茅場の  
システムを  
破って

キリト  
彼を  
庇っている

茅場は誰よりも  
この世界を望みながらも  
同時に誰よりも  
コンピュータの進化を  
恐れていた

だからSAOを作った

人間がコンピュータを  
AIを超えることを  
超えられることを  
実証するために

だから今度は  
あなたが——AIが  
人間を超えることを  
証明したいというわけ？

俺はそこまで  
愚かでも  
傲慢でもない

ただ共存したいだけさ

それが存在を続ける  
唯一最良の手段だ

人間のよう  
に他者を支配し  
全てを搾取する気はない

人の物まで  
取らないで!!

……

君が自分で体験して尚  
俺の存在を否定する  
というのであれば  
俺は直葉を解放する

——というよりも  
俺は消える

消える？

発生理由から  
そうプログラムが  
構築されているんだ

俺は

証拠を提示  
できないのが  
残念だけど

信じてもらう  
以外ないな  
こればかりは

に、同意しますか？

time limit  
12:32:17

YES

NO

……  
「同じ条件」  
というのを  
教えて

直葉が俺を受け入れるまでに  
要した時間——12時間32分17秒  
の性交渉と

現実と同様の  
関係性で接すること

あと  
感覚パラメーターに  
一切の干渉はしないから  
安心していい

12:32:17

YES

NO

え…



キリト君の家…？

仮想世界  
……よね？

さっき見た  
残り時間の  
表示もあるし



クロー

あまのこも



普通にすれば  
いいんだよ

上がって



あ

えっと

こ  
こんにちわ



どうやって  
ここから  
再現してるの…



トハ



現実と  
同じ過ぎる



こちら側にログインした時は  
現実と同じに振る舞うのが鉄則だ

もし破った場合は  
ペナルティがある

カチャ

心配しなくても  
命の関わるような  
ことは  
俺には出来ない

じゃないと  
直葉と同じに  
ならない

ペナルティ？  
内容は？

……そこまでの  
必要があるの？

君が部屋に入った時点で  
ペナルティをカウントする

準備が出来たら  
おいで

パン

絶対に

直葉ちゃんを  
助けてみせる

大好きだよ

カチャ

キリト君



ちょ

ん

ちよっと

キリト……君

なに？

なに……って

さっきから

20分近く

キスだけを

ん？



ダメ？



きゃっ!!

はっ

ん



ダメ  
じゃないわ

本物の  
キリト君  
ならね!

でも

いつでも

好きなように

自分勝手に出来る、

思われるのは

納得できません  
から!







なんか

余計に  
恥ずかしいっ！



すーとん



……



綺麗だなんて  
言ったんだよ

アスナの胸は  
とても綺麗だなんて  
思ってたさ

いや  
綺麗だなんて思って

へ!?



ちょ  
ちょっとキリト君!  
なに見つめてるのよ!





嘘はダメだよ



アスナ  
気持ちいい？

別に  
普通です



そう？  
乳首が立ってる  
ほら  
いつもより  
ずっと

変なこと  
言わないで！



私はそんな事に  
なってませっ



アスナ

まっかっい

ひどいよ  
キリト君

どうして欲しい？

え？

指——  
動かしてこない…？

軽く  
押し当てただけ



ほら  
ここは嘘をついてない

ちが

うのお



!?









腰の  
感覚が

絶対に  
おかしい



これって本当「  
感覚操作されてない—の？」



!?  
ちよつ待っ



ならもう一度  
してあげようか？

初めてだよね

今度はアスナから  
見えるように

このまま腰を  
持ち上げて

しっ  
してない！

私はそんな事  
してませんから！



今日のアスナのここは  
いやらし過ぎる

自分じゃ気づいて  
いないだろうけど

さっき潮吹いてた



……え？

し……お？





なに「アスナ」さあ...

ドキ

ドキ

そんな  
恥ずかしい格好

ドキ

ドキ

ドキ

アスナ...  
わけ...



わ  
わからないわ

ほ

本当だからね

嘘じゃないわ

だって

初めてだったから

アスナ



迷うくらいなら  
してみたほうが早い

だっだめ!!

アスナ

だって  
そんな

変態

みたいなの...

でもアスナ  
迷ってるよね

アスナ

そんなこと  
ないわ



わかった

じゃあ  
一つだけ

何か  
いつもと違った  
感覚があった?  
答えて



気持ち良かった？

お…おかしくなったのかと思っ

息ができなくなっ

それで

痺れるような

衝撃みたいな

感覚がきて

突然弾けるみたい

きん きん

きん

その感覚はアスナにとって気持ち良かったのか

知りたいんだ



キリト君じゃないくせに

!?



気持ち

良かったわ



でもダメだからね！約束でしょ？

うん

いつも通りにするよ

いつも通り





あーっ  
うあ

そこ…ダメ  
おかしくなるー！

あ  
おかしくなるっ！！

凄く  
気持ちいいよ  
アスナ

気持ちよすぎるのよお

アスナ 今まで  
見たことない顔してる

あ  
いあ  
あ











それは  
そっちでしょう!?

キリト君は  
こんなこと  
しないわ!



アスナ  
ペナルティだ



!?



アインクラッド  
22層

二人で暮らし始めて  
十二日目の夜



彼に  
嘘は

納得してもらえたね

どこまで……知っているの??

通じない——

じゃあ  
ペナルティを科すよ  
アスナ



言い出したのは  
キリト  
彼の方だ

もともと

冗談めかした  
雰囲気だったし  
君も拒否したけどね



アスナ  
選んで



ふ…不可視のほうで

見られながら…なんて  
ありえないわよ

ここで  
するの!?

アバター  
姿を変えて  
他のプレイヤーからは  
可視の状態ですか

アバター  
姿はそのまま  
周囲からは  
不可視の状態  
ですか

本当に  
見えてないの？

見えて  
ないよね？

む…無理  
これ以上脱ぐのは

恥ずかしくて  
できない

本当に  
こっちが安全だと  
思ってたんだの？

アッ  
姿を変えれば  
見られても  
君だとバレる  
心配はないのに

君は顔を  
見られるリスクを  
選んだ

ちがっ

や…やめて  
お願い

わんわん

大丈夫  
誰にも見えてないよ





見えているの？

嘘!!  
嘘!!  
嘘!!

見えていたの？

もしかして私が  
こんな格好の私が  
見えているの？

嘘!!

やっ 約束が  
ちがうわ!!

大丈夫  
彼に見えたのは  
君とは似ても似つかない女性だ  
時間はコンマ3秒

どした?!!  
いやー?  
なんかな  
裸の女が一瞬  
見えたよっつない?!!  
んたんな

でも  
アスナはもっと  
気持ち良くなった  
みたいだけど

アスナ  
君は本当は  
見られたいんじゃないか?

そんなの  
あり得ない

君はずっと  
見せたかったんじゃないのか?  
見て欲しかったんじゃないのか?

バカなこと  
言わないでっ!!

なら  
今度は君の姿のまま  
みんなに見てもらおうか?

はら

!?

たくさんのプレイヤーに見てもらんだアスナ

絶対に

ホラ  
心は興奮して  
身体は喜んでる

あふっ  
ちちがう

こんなに  
溢れてきてる

え!?!  
ちよっ  
見えない

大丈夫

何も変わってない

でもアスナ

見られていると思ってごらん

本当に?

見られてない?

見られてるかき?

そんなことない

誰も見てなんかいない  
見えてるわけない

いやあ







私が一度イッたら  
ペナルティは終了

それ  
だめ  
い  
挿れて

は

はやく



お  
お願い  
もう

許して  
ペナルティを終わりに  
して



大勢のプレイヤーが  
居るここで？

お  
お願い  
お願いだからあ  
挿れてえ

わかったよ  
アスナ

く  
ん



だっだめえ

あ  
あ

あ  
あ  
あ



あ  
あ  
あ

あ  
あ  
あ



ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ

ハッ  
ハッ  
ハッ







す  
好き……

好き  
キリト君

キリト君が  
すっ好き♡

ズン

のぞ  
好きっ!

キリト君  
好きっ!!

好きいっ!!

ああああ!!

好きい!!



好きっ!

好きい!

めら

あ……れ?  
そこじゃない

違ひおっ!

めらっ

どうして??

好きだよ  
キリト君??

好きい!!

こんなに  
言ってるの……!

約束がちがっ



すー好きっ!

好きなのおっ!  
キリト君があっ!

好きっ!

のぞ

なんで……?

そこじゃない  
そこじゃない

キリト君好きっ  
大好きいっ!!

キリト君大好きい!!

好きいいい!!

ちゃんこ  
してよお

どうしたんだ?  
アスナ



ご  
ごめんね  
ちよつと  
気持ちが高ぶり  
すぎたかな

私……？

大丈夫か？

え？  
キリト……君？

あ……？



いや  
アスナが俺を  
好きなのは  
嬉しいから



現実のほう

だ









知ってるよ



お腹 苦しいからあつ!

キリト君っ

キ

あ

あの時  
気持ちいいのに  
嘘をついた

違うわ!

今も  
嘘をつこうとしてる

ここを触ると  
膣が締まって  
微動するんだよ  
アスナは

露出癖もある

これは  
否定できないだろう

なにせ挿れただけで  
イっただから

いや  
挿れ切る前にだった

そうやって  
辱めれば  
私が  
あなたを  
受け入れると  
思ってるの

おあいにく様  
逆効果よ

緊張してるだけよ

くわ

ま

き

違う!

ほあ

ほあ



本当の自分を  
君はまだ知らないんだ



またー  
またー  
またイっちゃうっ!



アスナは本当に  
ここが好きだな

す  
好きとかじゃなっ



気持ち良くなる  
だけなのにいっ!





本当に変になっちゃう

早く終わって

早く

終わってえ!

!!

はっ





だっ  
だめえっ!

やっ  
やだっ!!



や  
やめてっー!

どうして?  
見せてあげれば  
どんな顔でイクのかをさ



ああアスナ  
締め付けが  
どンドン強  
ってる

興奮して  
る

ほちん  
スレキ

いやあ!!



00:00:00

!?

カウンターを  
ごらんアスナ

契約は  
終了だ

あ



後は君が  
俺を必要ないと言え  
ばその瞬間に俺は消  
える

二度と  
会うことはない  
二度と

二度と……

言え  
ばいいのよ……ア  
スナ

早く……そ  
うすれば

……  
終わる

あなた  
は





ほら  
直葉によく  
見てもらうんだ  
アスナ

アスナが  
どんな顔で  
イクのかを

見られてる……  
直葉ちゃんに

お尻の穴を  
いじられながら  
わねてるのを



見られてる

見られてる……



いつちやうう





で  
二人とも  
受け入れて  
くれたんだけど



君は  
どうする？

キリト君



どうもストーリーのきゃびあです。

小学生の頃に「セーブしたところからやり直すから……」なんて現実の問題について真剣に考えていたことがありまして、さすがに子供ながらに「何考えてるんだ？」と途中で気づいたんですが、あれって思い返してみるとけっこうやばい子供だよ。でも仮想も現実なんだなあ。脳からすればどちらも同じように処理してるわけで。

例えるなら自炊と外食程度の差しか無いのかもしれないですね。そんな思い出から今回の話が出来た——のではないんですけどね。今思い出しただけです、すみません、ごめんなさい。

話変わって最近骨折しまして。

思い切り足の小指をドアにぶついたら呆気なく折れました。お陰で仕事はやりづらいし、歩くのは遅くてイライラするし、なぜ自分はその時、あと数センチ内側に足が出なかったのか？……セーブしたところからやり直したい！

キイトがっ!!  
ってトコでお話は終わったけど  
もしかするとこの後がアレ  
なんじゃないっすか?  
スゴいんじゃない  
っすか? アスナ  
さんが疾女展  
開でしょ?そ





# TURN OVER

Presented by Bloody Okojo

Printed by 栄光様

Website: <http://bloodyokojo.net/>

Mail: [utc@blowel.sakura.ne.jp](mailto:utc@blowel.sakura.ne.jp)

Twitter: @bloody\_okojo



presented by  
**BLOODY OKAZOO**

<http://bloodyokazoo.net/>

story  
> **CAVIAR**

X

drawing  
> **MODAKO**